

平成31年3月15日 第2回経営審議会

秩父地域の水道事業

秩父広域市町村圏組合水道局

メニュー

- ① 統合前～統合後の水道事業の経営状況
- ② 統合前の水道施設の健全度
- ③ 秩父地域の浄水場一覧

①統合前～統合後の水道事業の経営状況

経営比較分析表から構成市町の経営状況が一目で分かります。

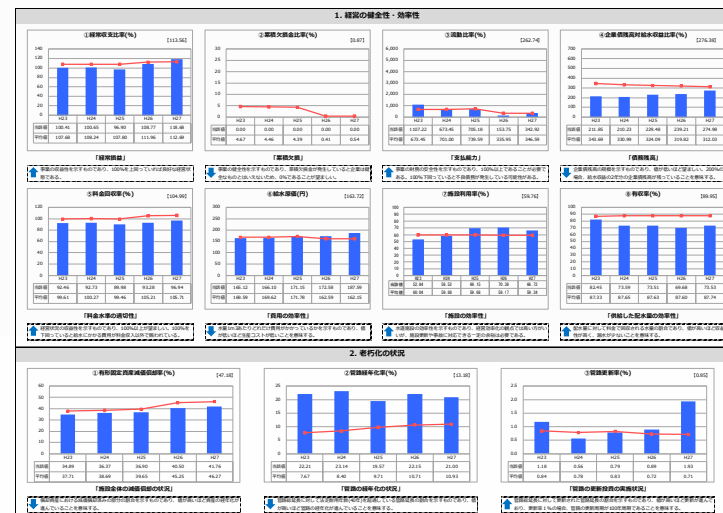
Q. 経営比較分析表とは？

A. 経営及び施設の状態を表す「経営指標」を活用し、当該団体の経年比較や他公営企業との比較ができる表です。この「経営比較分析表」を活用することにより、経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握することが可能となります。

各公営企業は「経営比較分析表」の作成が義務付けられているため、自団体の経営を分析する上で有益な情報を得ることができます。また、議会や住民に対する経営状況の説明にも活用しています。

経営比較分析表の11の指標

1. 経常収支比率
2. 累積欠損金比率
3. 流動比率
4. 企業債残高対給水収益比率
5. 料金回収率
6. 給水原価
7. 施設利用率
8. 有収率
9. 有形固定資産減価償却率
10. 管路経年化率
11. 管路更新率



経営比較分析表の見方

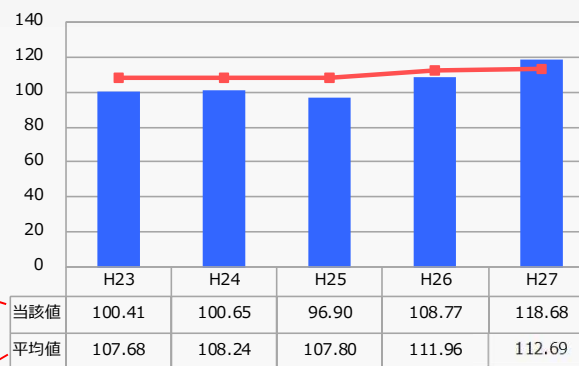
1. 経営の健全

自団体の数値は「当該値」欄に表示され、棒グラフで表しています。直近5年間の経年比較が可能で、情報を視覚的に捉えることができます。

平均値とは、類似団体の平均であり、折れ線グラフで表しています。類似団体は給水人口により区分されています。

① 経常収支比率(%)

[113.56]

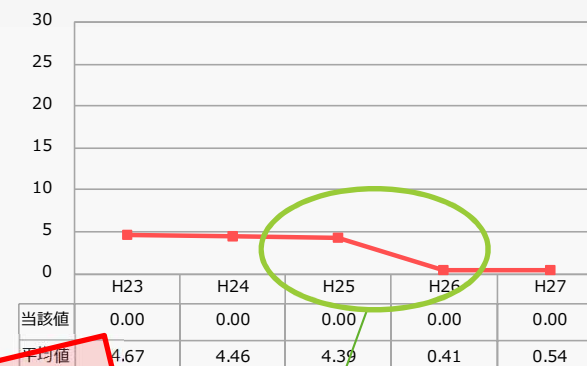


「経常損益」

↑ 事業の収益性を示すものであり、100%を上回っていれば良好な経営状態である。

② 累積欠損比率(%)

[0.87]

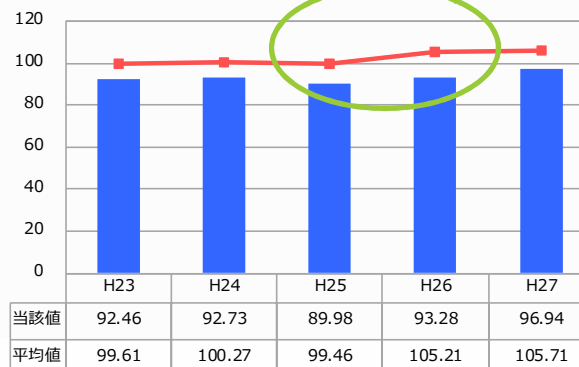


「累積欠損」

↓ 事業の健全性を示すものであり、累積欠損金が発生していると企業は健全である。

⑤ 料金回収率(%)

[104.99]



「料金水準の適切性」

↑ 経営状況の収益性を示すものであり、100%以上が望ましい。100%を下回っていると給水にかかる費用が料金収入以外で賄われている。

平成25年度から平成26年度にかけて数値が大きく変動しているものがありますが、これは会計制度の変更が大きな一因です。会計制度の変更により、指標の算出式が変更したものや、計上すべき勘定科目が変更したものがあります。

「費用の効率性」

↓ 水量1m3あたりどれだけ費用がかかっているかを示すものであり、値が低いほど生産コストが低いことを意味する。

経営比較分析表の指標

1 経常収支比率

$$1 \quad \text{経常収支比率} \quad \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

Q. 経常収支比率とは？

A. 当該年度において、給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標である。

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標は、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要である。数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組が必要である。

分析にあたっての留意点として、例えば、当該指標が100%以上の場合であっても、更なる費用削減や更新投資等に充てる財源が確保されているか等、今後も健全経営を続けていくための改善点を洗い出すといった観点から分析する必要があると考えられる。

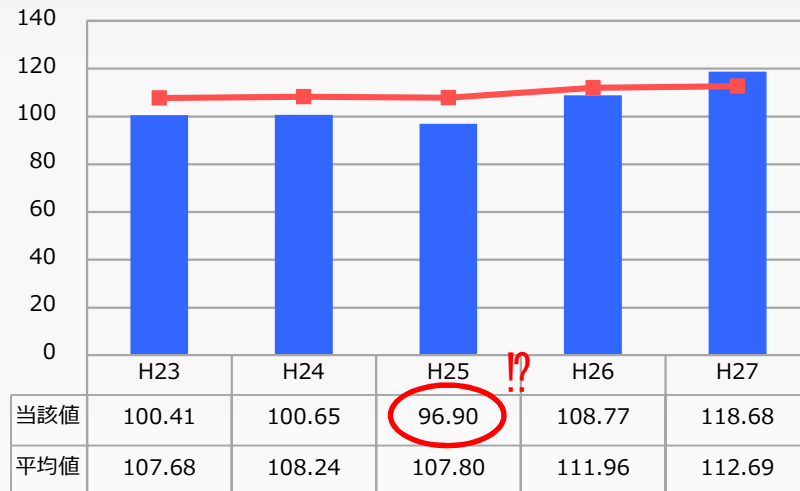
また、経常収益（総収益）について、給水収益以外の収入に依存している場合は、料金回収率と併せて分析し、経営改善を図っていく必要がある。

一方、当該指標が100%未満の場合であっても、経年で比較した場合に、右肩上がりで100%に近づいていけば、経営改善に向けた取組が成果を上げている可能性があるといえ、今後も改善傾向を続けていく観点から分析する必要があると考えられる。

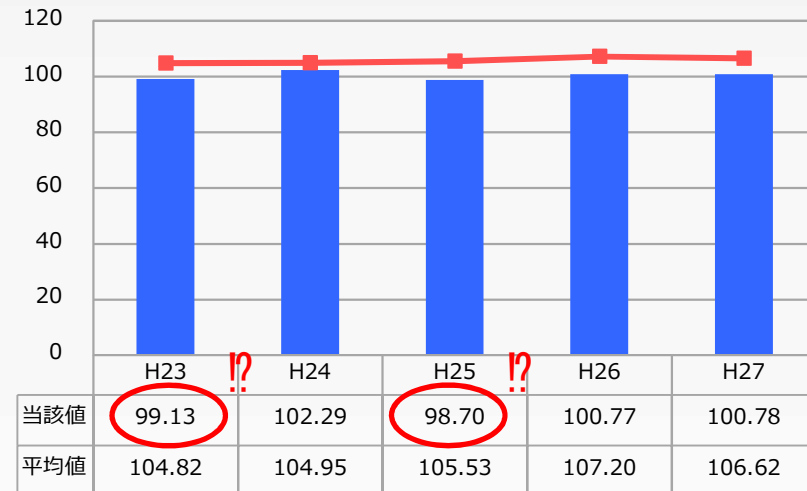
1 経常収支比率

(全国平均 113.56)

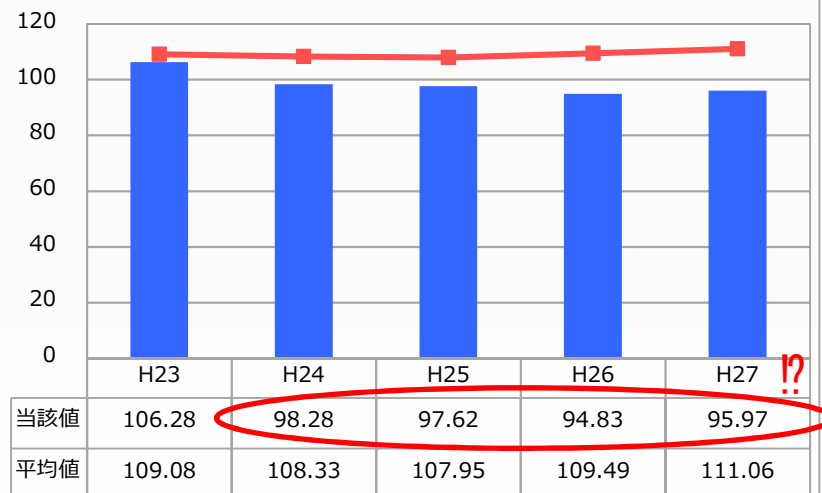
秩父市



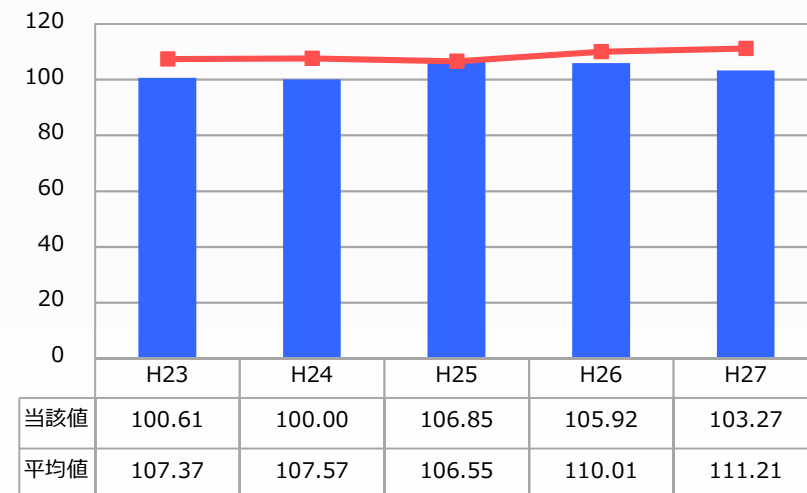
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

2 累積欠損金比率

2 累積欠損金比率

$$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$$

会計制度の変更により平成26年度から利益剰余金が増加した団体があります。
(負債の部 繰延収益) マイナス
(資本の部 利益剰余金) プラス } 士ゼロ

Q. 累積欠損金比率とは？

A. 営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標である。

Q. 分析の考え方は？

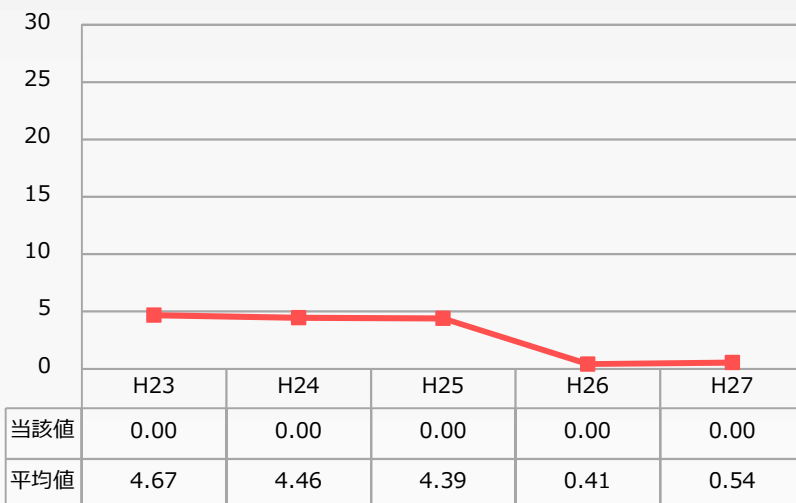
A. 当該指標は、累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが求められる。数値が0%より高い場合は、経営の健全性に課題があるといえる。経年の状況も踏まえながら0%となるよう経営改善を図っていく必要がある。

分析にあたっての留意点として、例えば、当該指標が0%の場合であっても、給水収益が減少傾向にある場合や維持管理費が増加傾向にある場合には、将来の見込みも踏まえた分析が必要であると考えられる。

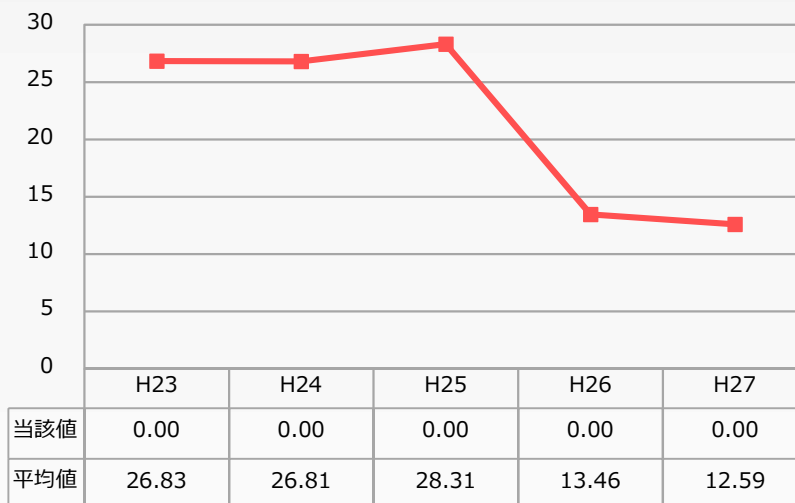
2 累積欠損金比率

(全国平均 0.87)

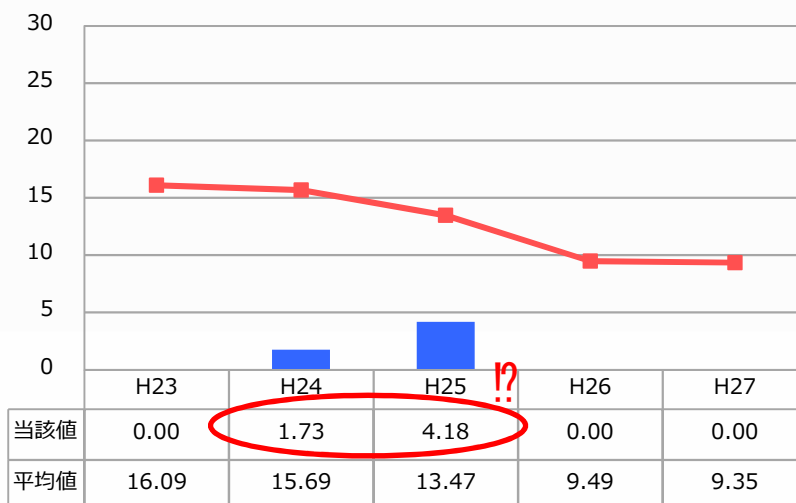
秩父市



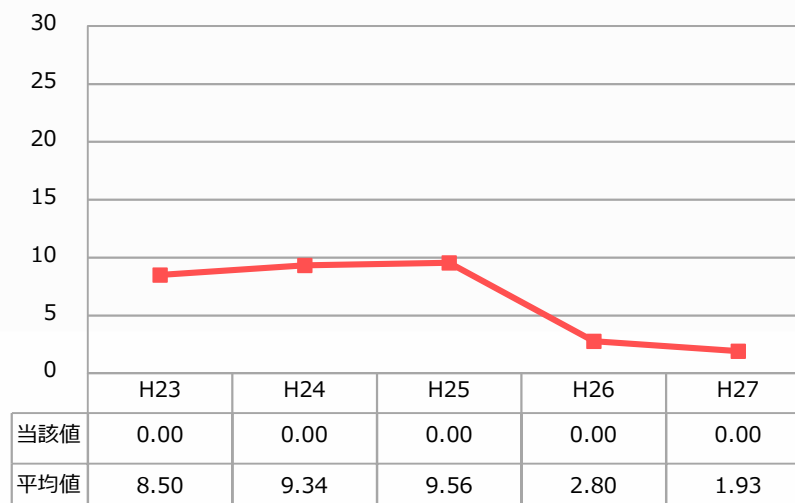
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

3 流動比率


3 流動比率

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$$
$$\times 100$$

Q. 流動比率とは？

A. 短期的な債務に対する支払能力を表す指標である。

会計制度の変更により平成26年度から流動負債が増加しました。

(負債の部 流動負債)  全額
(資本の部 借入資本金)

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標は、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要である。一般的に100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄えておらず、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要がある。

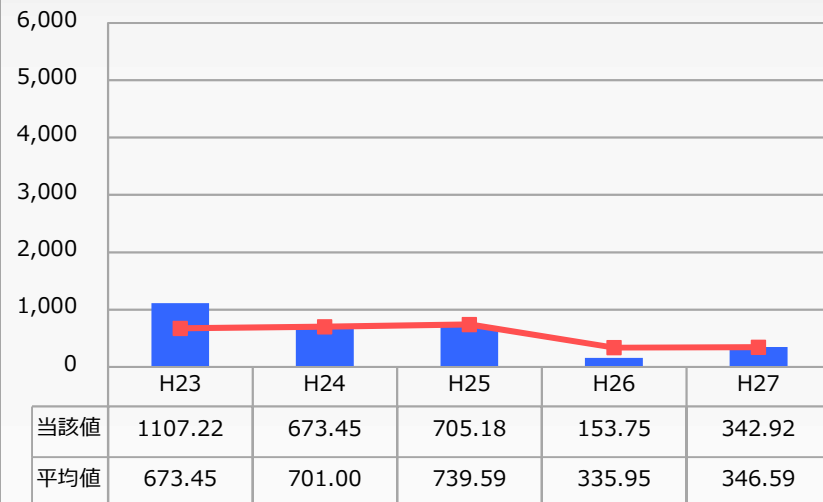
分析にあたっての留意点として、例えば、当該指標が100%を上回っている場合であっても、現金といった流動資産が減少傾向にある場合や一時借入金といった流動負債が増加傾向にある場合には、将来の見込みも踏まえた分析が必要であると考えられる。

また、当該指標が100%未満であっても、流動負債には建設改良費等に充てられた企業債・他会計借入金等が含まれており、これらの財源により整備された施設について、将来、償還・返済の原資を給水収益等により得ることが予定されている場合には、一概に支払能力がないとはいえない点も踏まえた分析が必要であると考えられる。

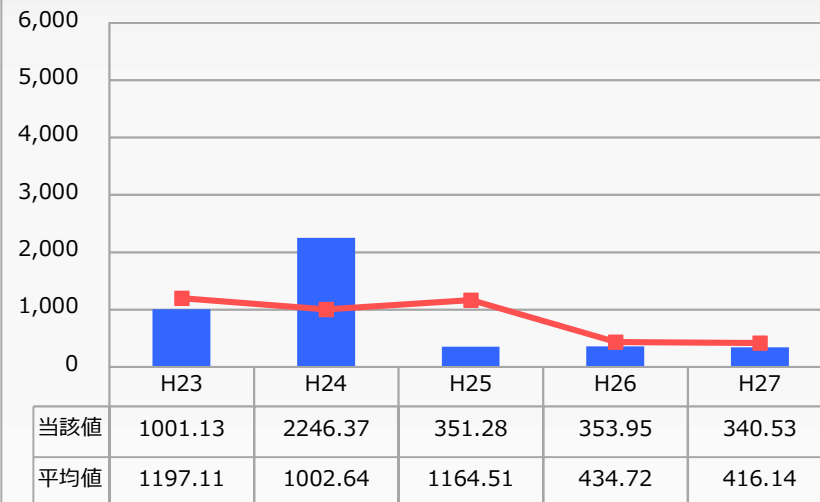
3 流動比率

(H27全国平均 262.74)

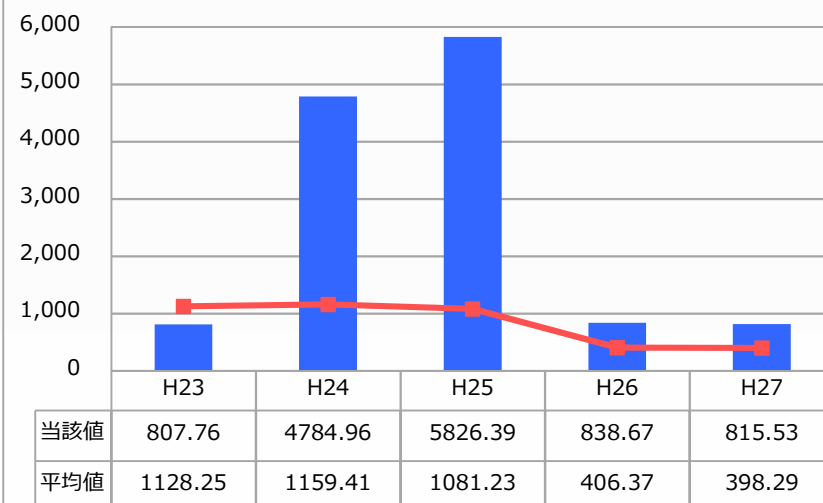
秩父市



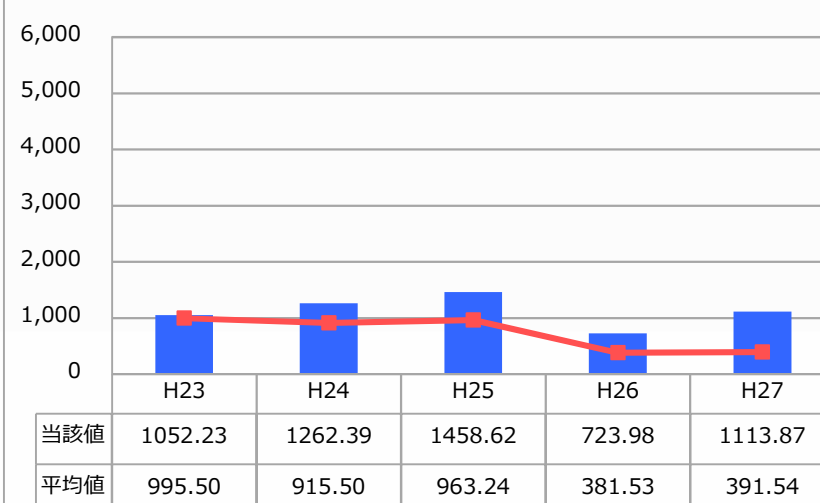
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

4 企業債残高対給水収益比率

$$4 \text{ 企業債残高対給水収益比率} = \frac{\text{企業債現在高合計}}{\text{給水収益}} \times 100$$

Q. 企業債残高対給水収益比率とは？

A. 給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。

Q. 分析の考え方は？

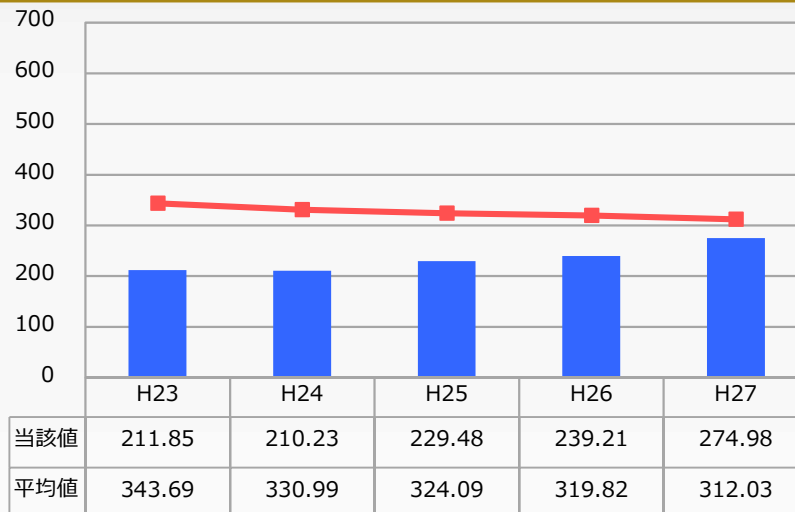
A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられる。従って、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。

分析にあたっての留意点として、投資規模は適切か、料金水準は適切か、必要な更新を先送りしているため企業債残高が少額となっているに過ぎないかといった分析を行い、経営改善を図っていく必要があると考えられる。

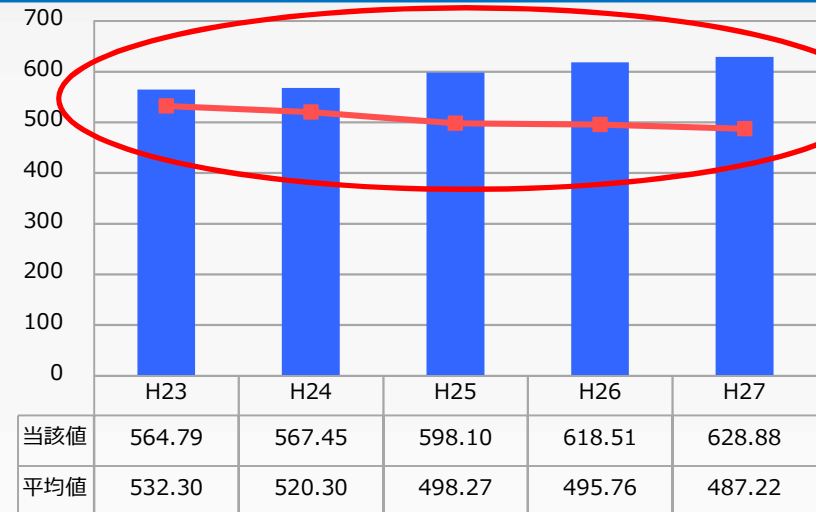
4 企業債残高対給水収益比率

(H27全国平均 276.38)

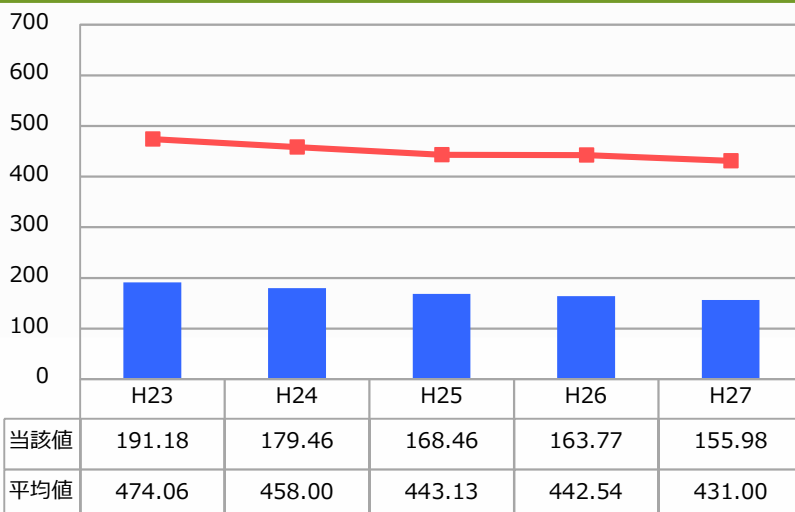
秩父市



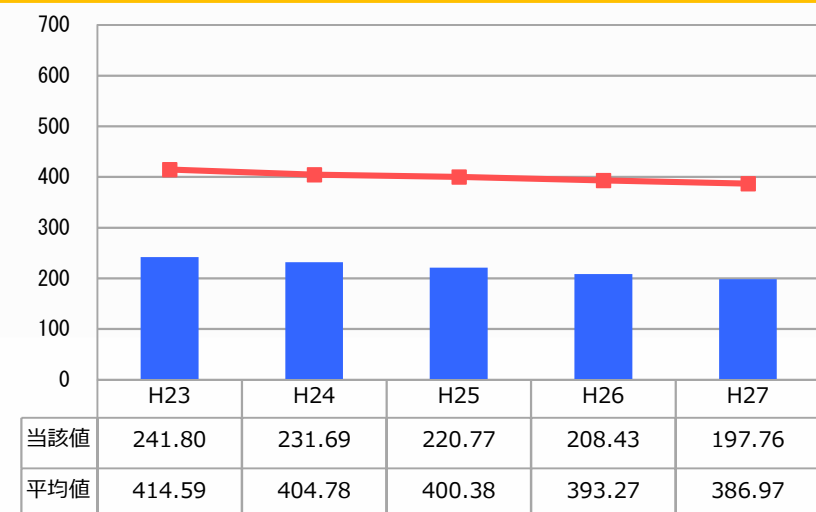
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

5 料金回収率

5 料金回収率

$$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$$

Q. 料金回収率とは？

A. 給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標であり、料金水準等を評価することが可能である。

会計制度の変更により平成26年度から給水原価が減少した団体があります。

※詳細は14ページ参照

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標は、供給単価と給水原価との関係を見るものであり、料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。数値が低く、繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているような事業体にあっては、適切な料金収入の確保が求められる。

分析にあたっての留意点としては、経常収支比率と同様に、例えば、当該指標が100%以上の場合であっても、更なる費用削減や更新投資等に充てる財源が確保されているか等、今後も健全経営を続けていくための改善点を洗い出すといった観点から分析する必要があると考えられる。

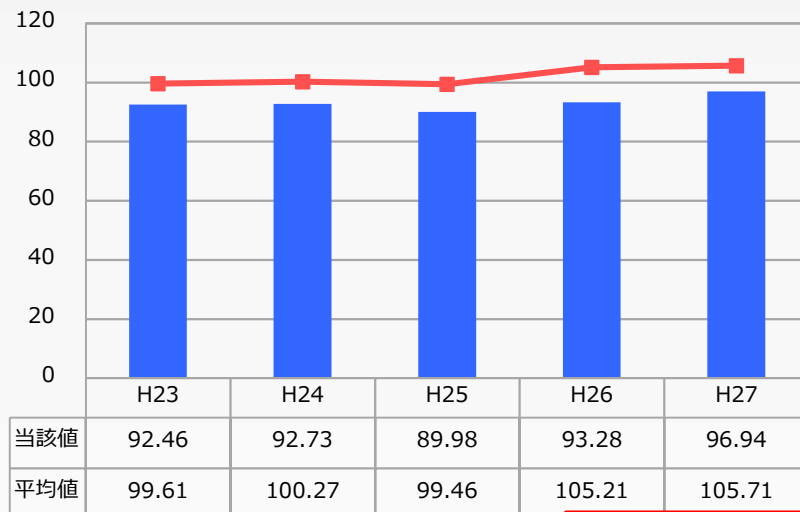
ポイント

4 団体とも100%未満です。100円で作った水を100円未満で販売している状況であり、商売として成り立っていません。また、必要な更新を先送りにしてまで原価を下げていないかにも注意が必要です。

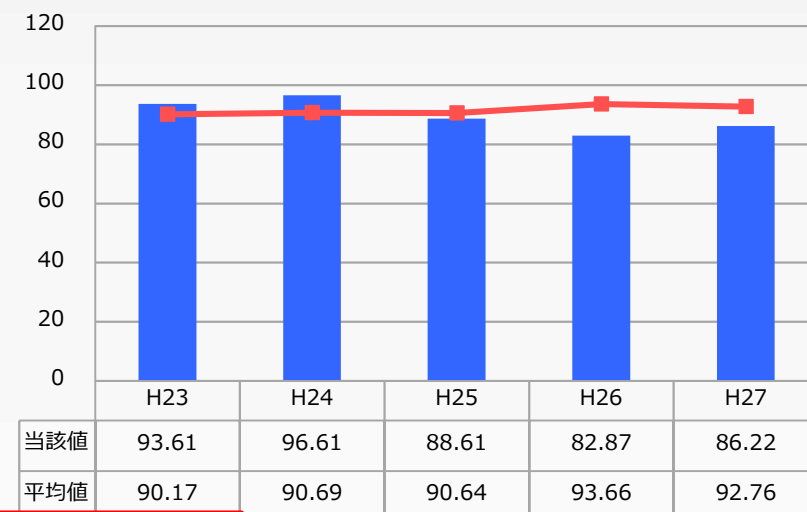
5 料金回収率

(H27全国平均 104.99)

秩父市

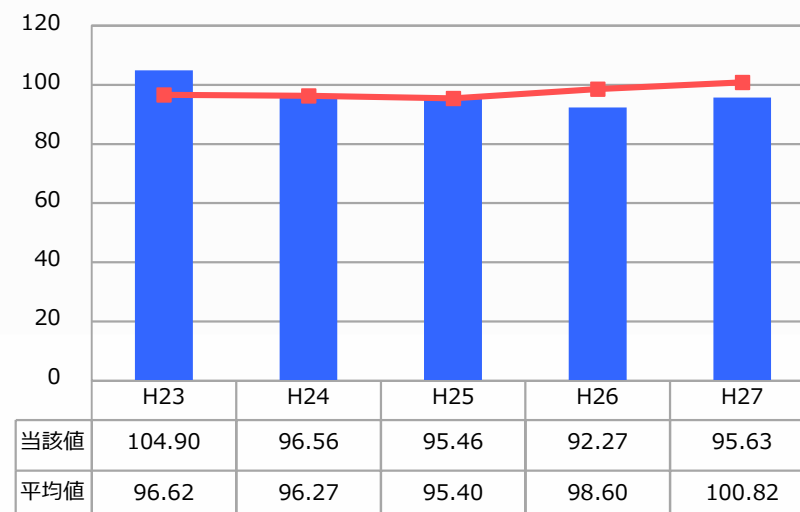


横瀬町

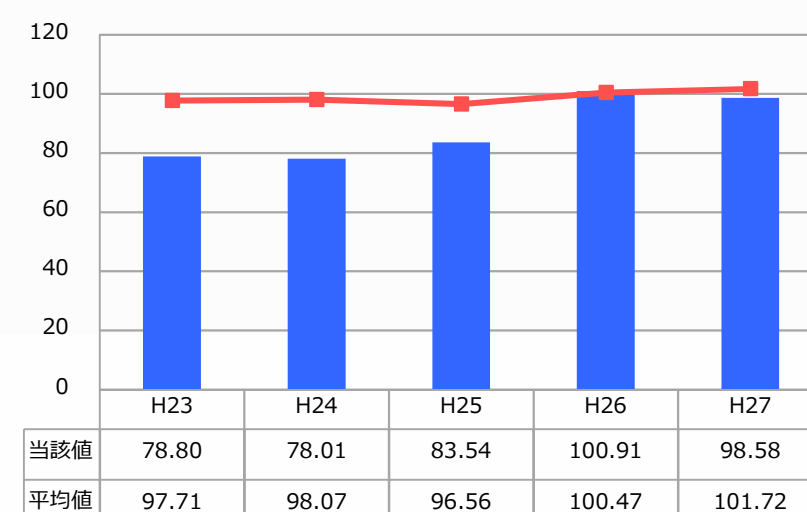


全団体原価割れ!?

小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

6 給水原価

6 給水原価

経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋ 附帯事業費）－長期前受金戻入
年間総有収水量

会計制度の変更により平成26年度から給水原価が減少した団体があります。

算出式中「－長期前受金戻入」部分が追加されました。
これにより、みなし償却不実施団体は分子が減少しました。

Q. 給水原価とは？

A. 有収水量 1 m³あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標である。

Q. 分析の考え方は？

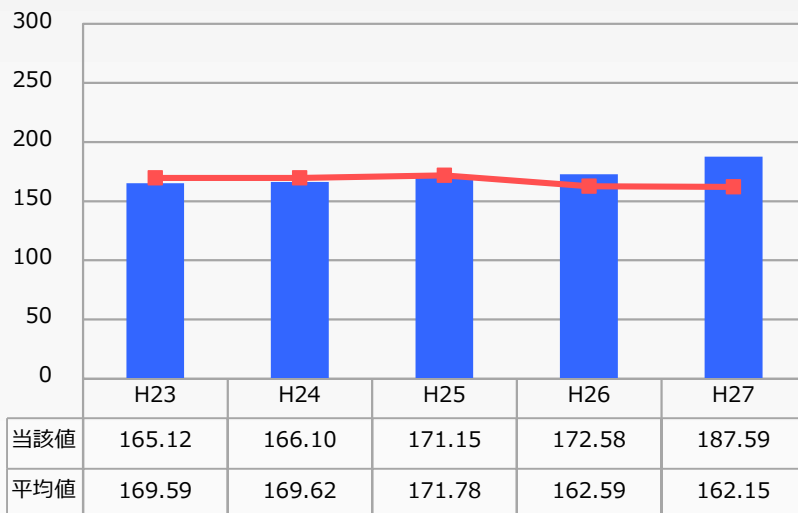
A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられる。従って、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。

また、必要に応じて、投資の効率化や維持管理費の削減といった経営改善が必要である。

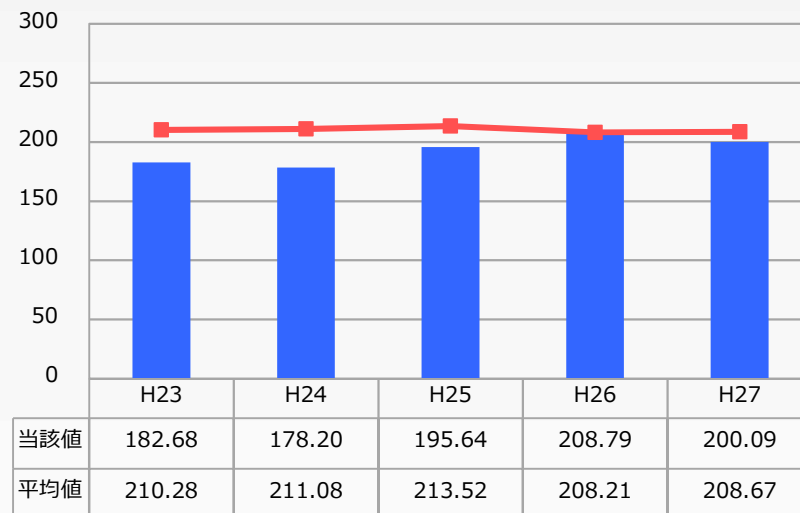
6 給水原価

(H27全国平均 163.72)

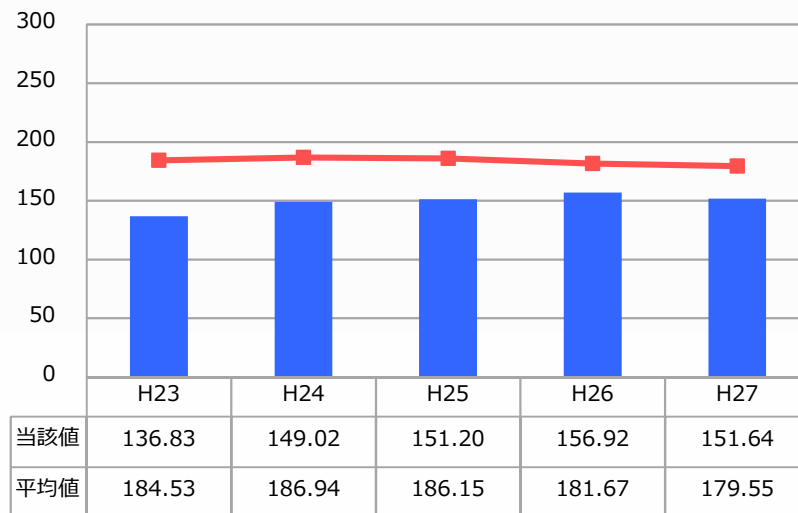
秩父市



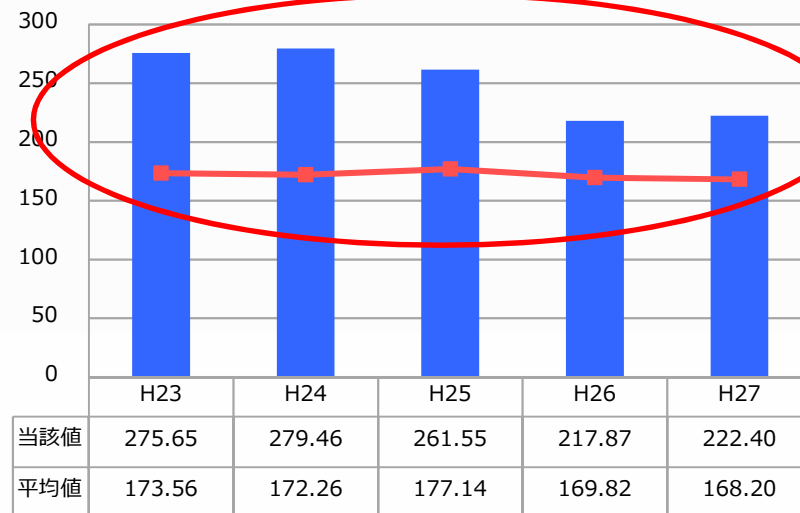
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



7 施設利用率

$$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$$

Q. 施設利用率とは？

A. 一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標である。

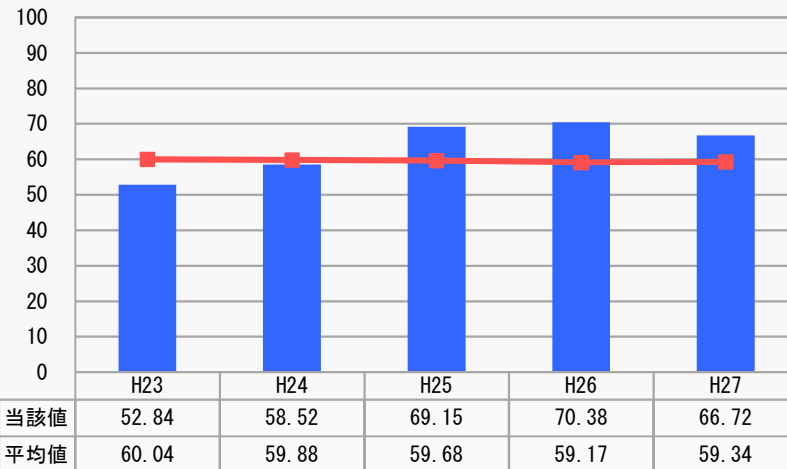
Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられるが、一般的には高い数値であることが望まれる。経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握し、数値が低い場合には、施設が遊休状態ではないかといった分析が必要である。

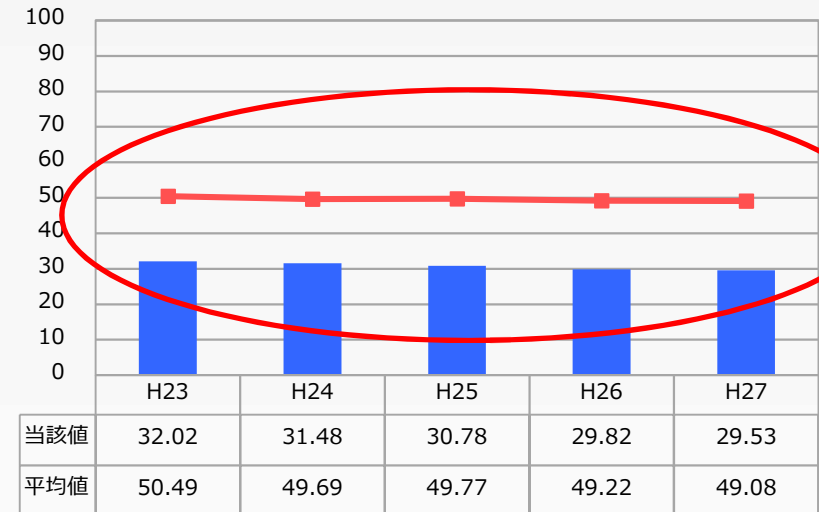
分析にあたっての留意点として、水道事業の性質上、季節によって需要に変動があり得るため、最大稼働率、負荷率を併せて判断することにより、適切な施設規模を把握する必要がある。

7 施設利用率 (H27全国平均 59.76)

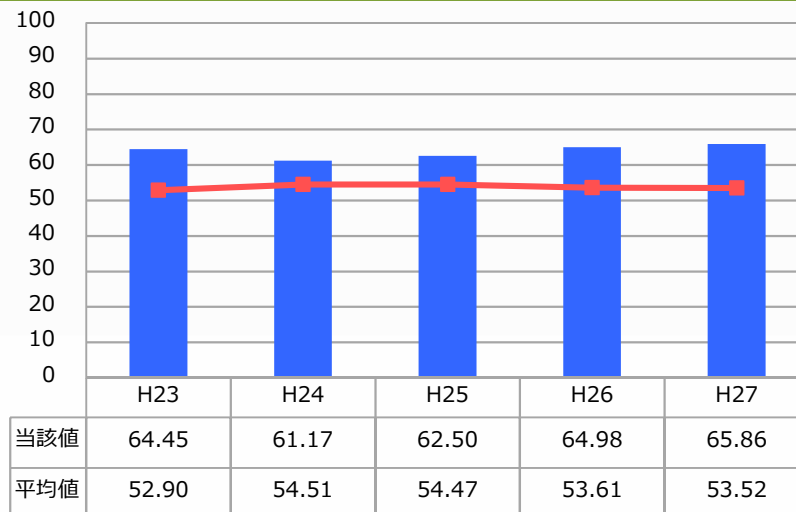
秩父市



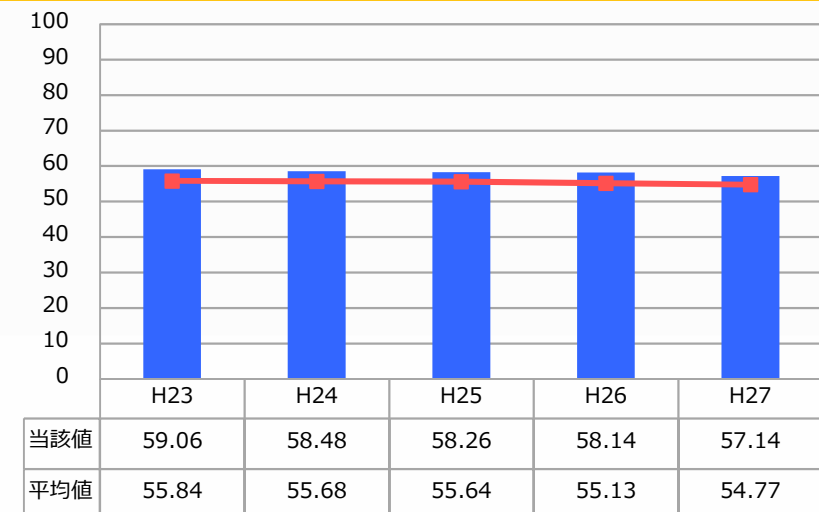
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

8 有収率

$$8 \text{ 有収率} = \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$$

Q. 有収率とは？

A. 施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標である。

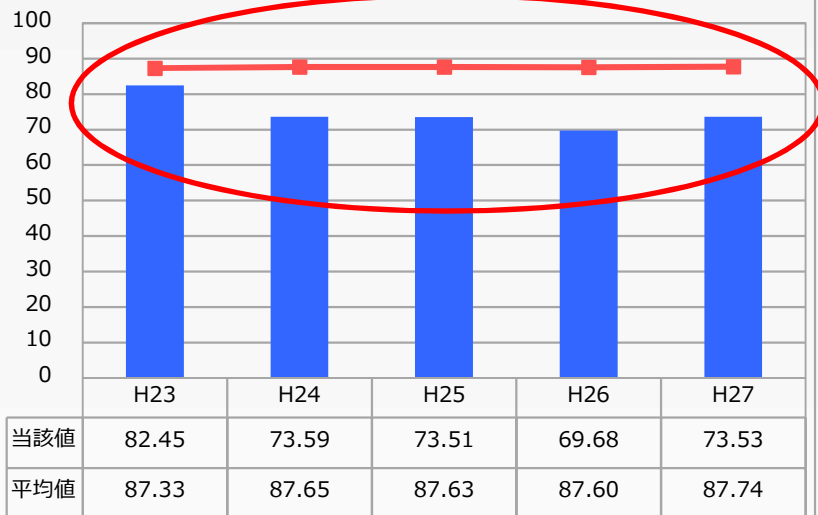
Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標は、100%に近ければ近いほど施設の稼働状況が収益に反映されていると言える。数値が低い場合は、水道施設や給水装置を通して給水される水量が収益に結びついていないため、漏水やメーター不感等といった原因を特定し、その対策を講じる必要がある。

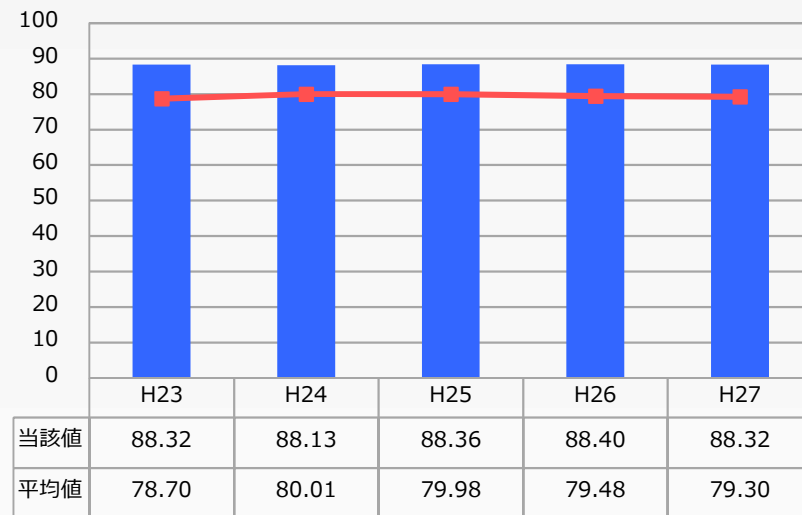
8 有収率

(H27全国平均 89.95)

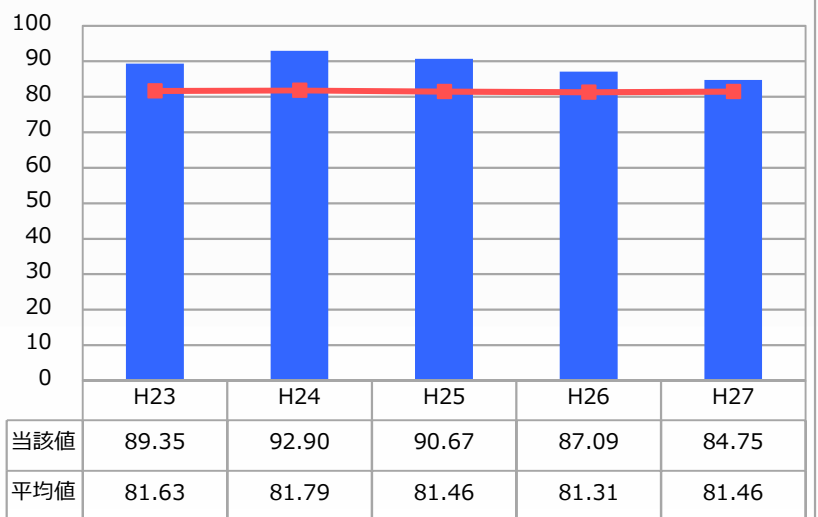
秩父市



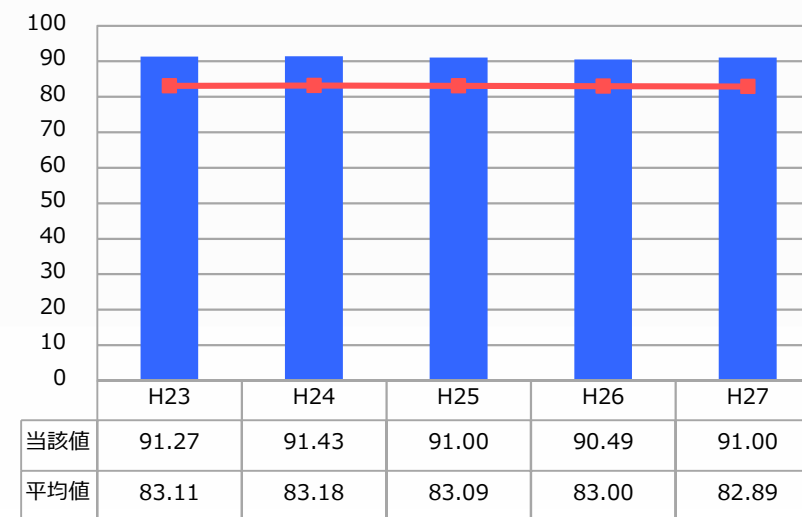
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

9 有形固定資産減価償却率

$$9 \text{ 有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

Q. 有形固定資産減価償却率とは？

A. 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。

会計制度の変更により平成26年度から減価償却累計額が増加した団体があります。
みなし償却実施団体は減価償却額が増加しました。

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられる。従って、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。一般的に、数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。

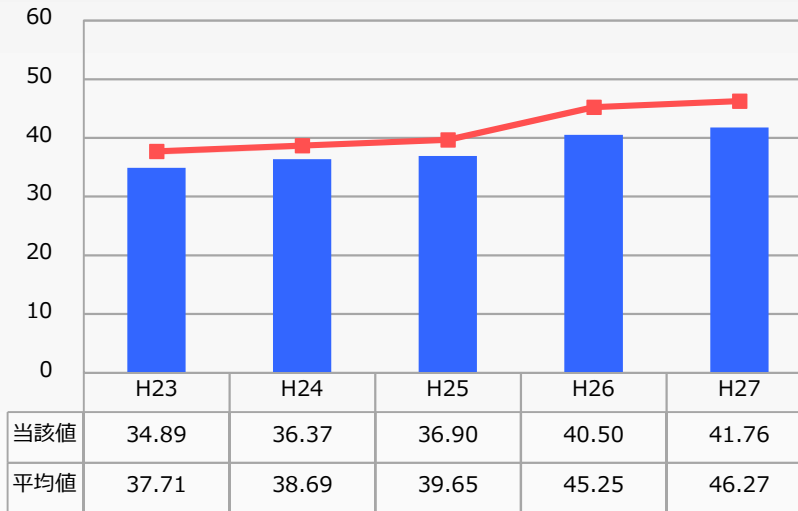
また、他の老朽化の状況を示す指標である管路経年化率や管路更新率の状況を踏まえて分析する必要があると考えられ、施設の更新等の必要性が高い場合などには、更新等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行い、必要に応じて経営改善の実施や投資計画等の見直しなどを行う必要がある。

なお、長寿命化等に取り組んでいる団体においては、分析の際に、それらの効果についても留意が必要である。

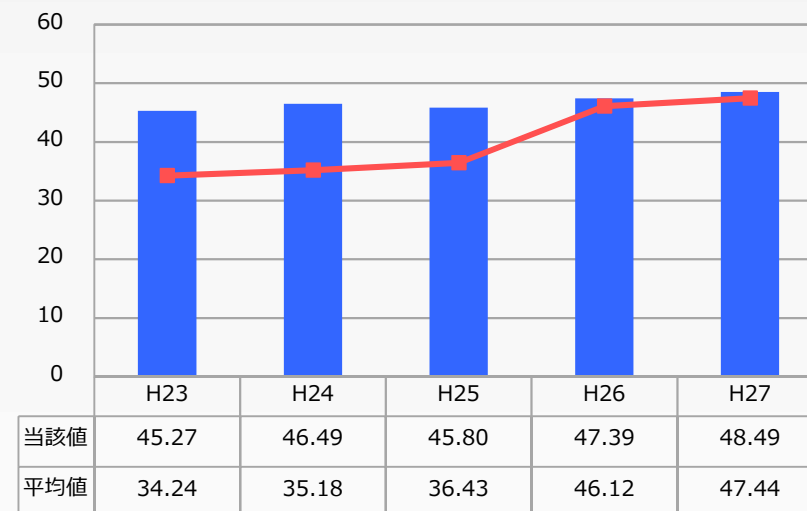
9 有形固定資産減価償却率

(H27全国平均 47.18)

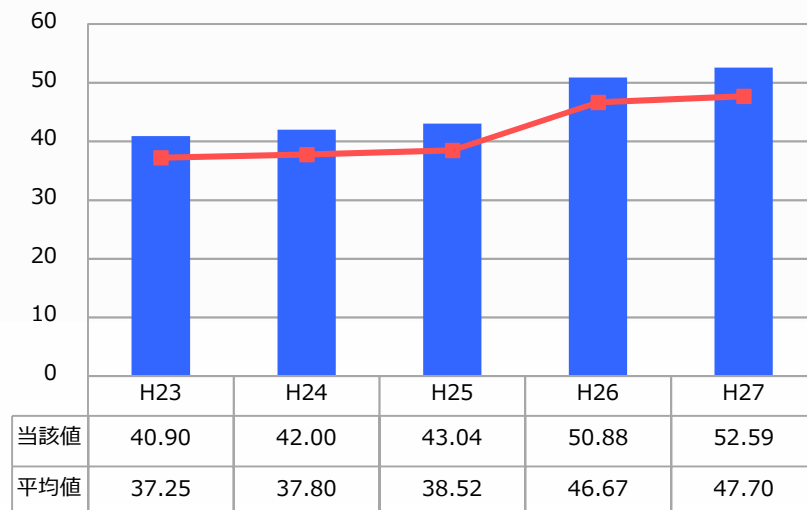
秩父市



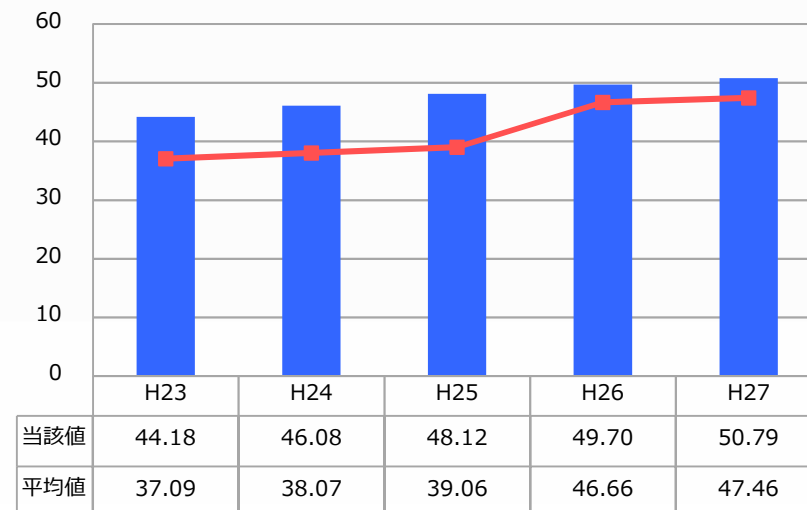
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

10 管路経年化率

$$10 \text{ 管路経年化率} = \frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

Q. 管路経年化率とは？

A. 法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合を示している。

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられる。従って、経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。

一般的に、数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管路を多く保有しており、管路の更新等の必要性を推測することができる。

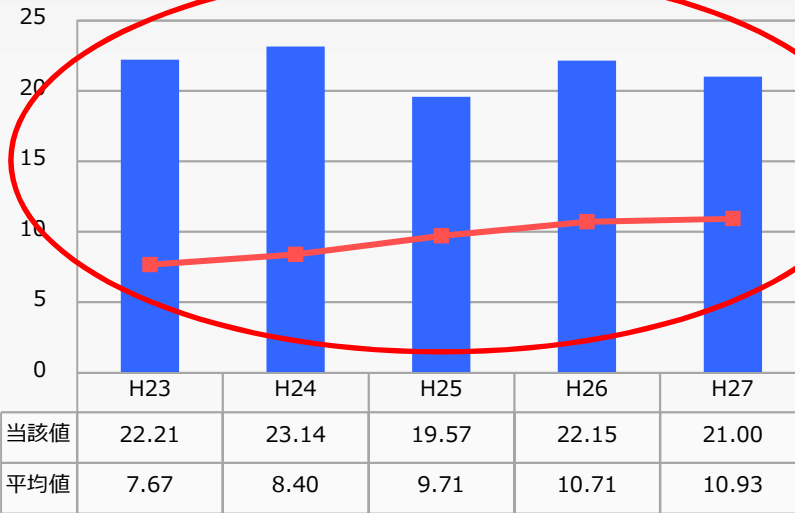
また、他の老朽化の状況を示す指標である有形固定資産減価償却率や管路更新率の状況を踏まえて分析する必要があると考えられ、管路の更新等の必要性が高い場合などには、更新等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行い、必要に応じて経営改善の実施や投資計画等の見直しなどを行う必要がある。

なお、長寿命化等に取り組んでいる団体においては、分析の際に、それらの効果についても留意が必要である。

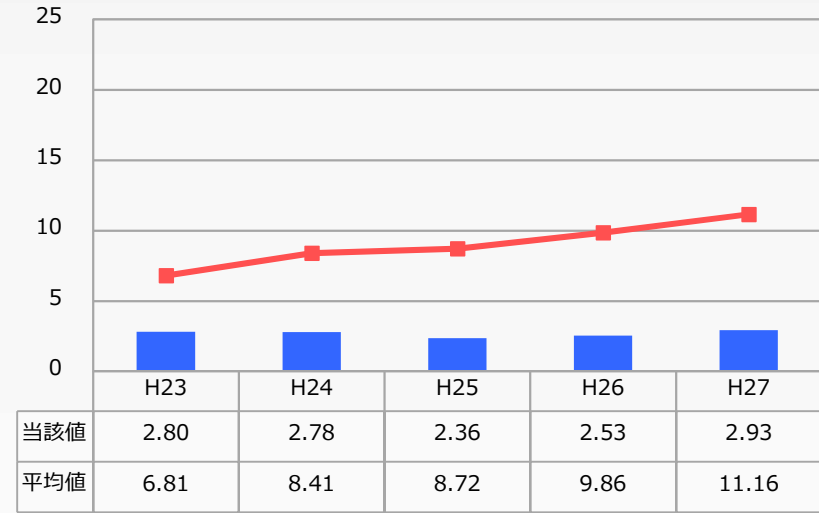
10 管路経年化率

(H27全国平均 13.18)

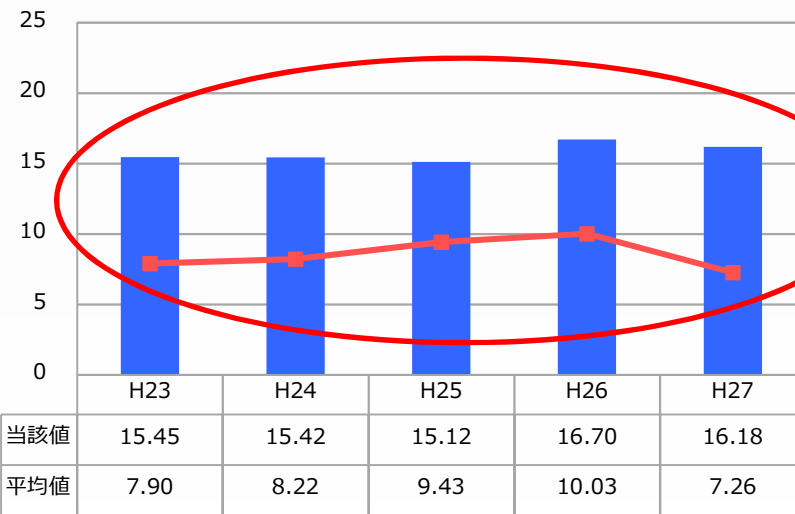
秩父市



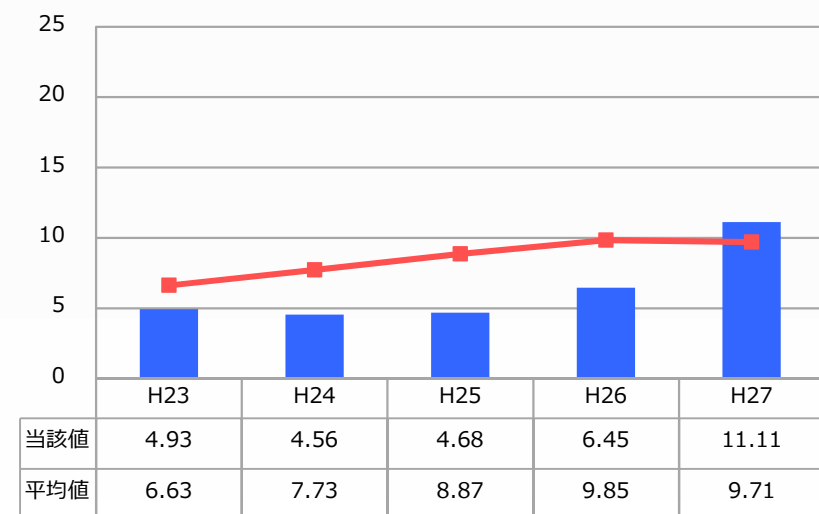
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表の指標

11 管路更新率

11 管路更新率

当該年度に更新した管路延長

管路延長

× 100

Q. 管路更新率とは？

A. 当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できる。

Q. 分析の考え方は？

A. 当該指標については、明確な数値基準はないと考えられるが、数値が1%の場合、すべての管路を更新するのに100年かかる更新ペースであることを示す。経年比較や類似団体との比較等により自団体の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているか、対外的に説明できることが求められる。

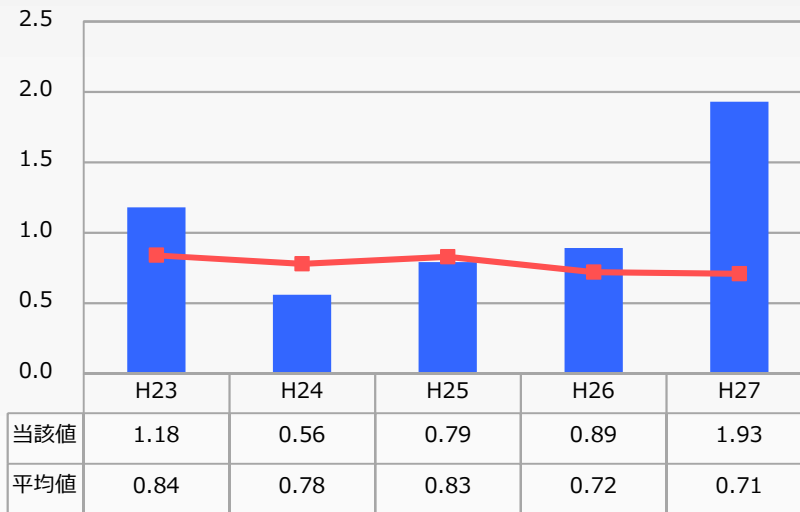
また、当該指標の分析には、他の老朽化の状況を示す指標である有形固定資産減価償却率や管路経年化率の状況を踏まえて分析する必要があると考えられ、管路の更新等の必要性が高い場合などには、更新等の財源の確保や経営に与える影響等を踏まえた分析を行い、必要に応じて経営改善の実施や投資計画等の見直しなどを行う必要がある。

なお、供用開始から日が浅い、既に多くの管路の更新が終了している等の団体においては、分析の際に、それらの効果についても留意が必要である。

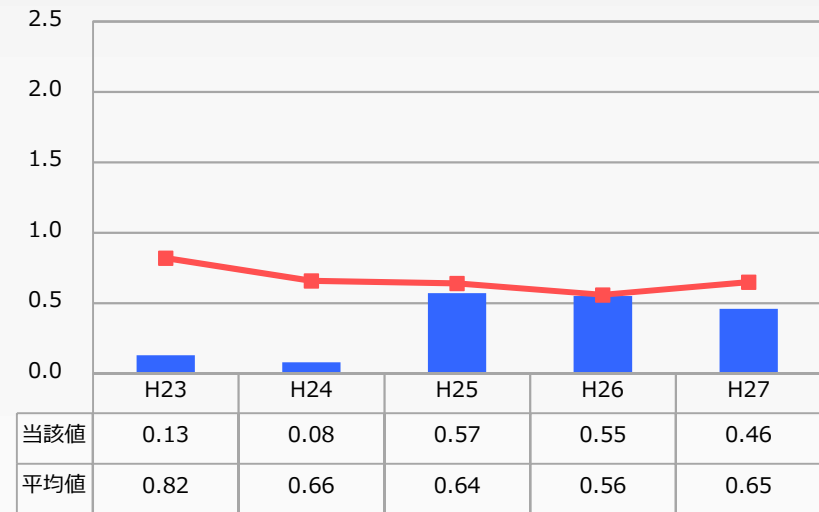
11 管路更新率

(H27全国平均 0.85)

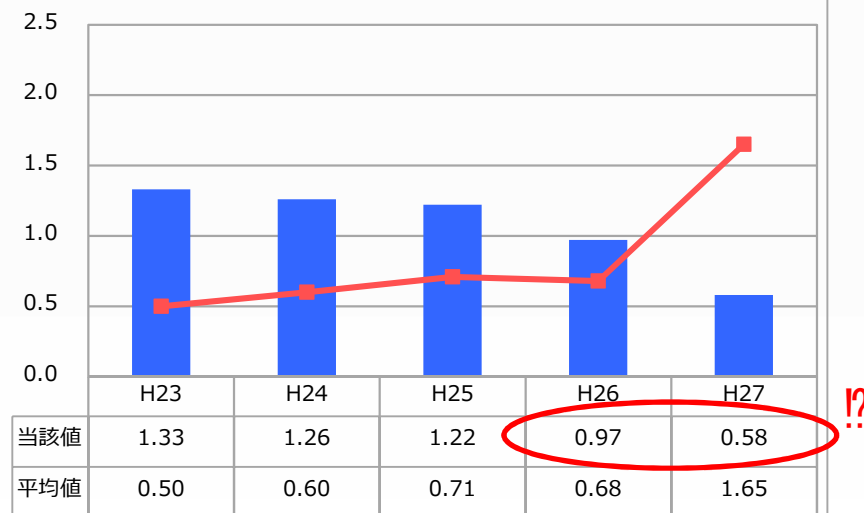
秩父市



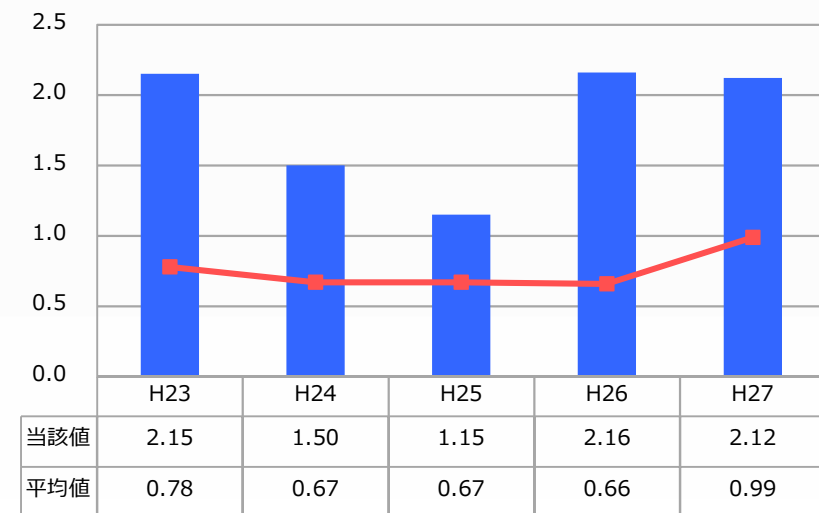
横瀬町



小鹿野町

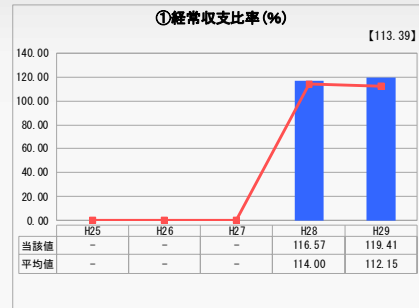


皆野・長瀬

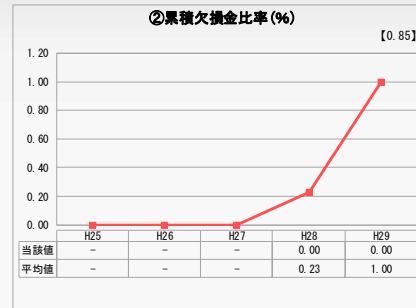


統合後の経営比較分析表

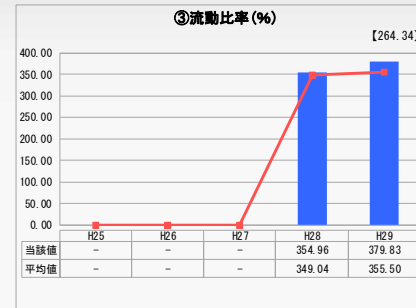
1. 経営の健全性・効率性



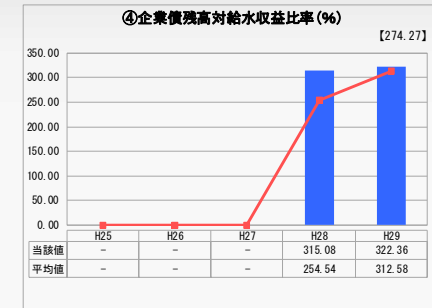
「経常損益」



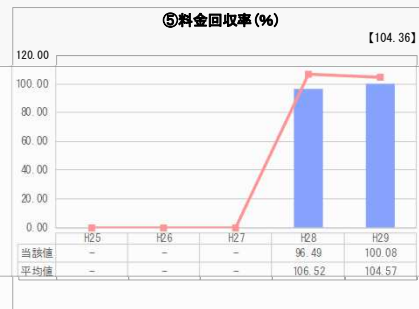
「累積欠損」



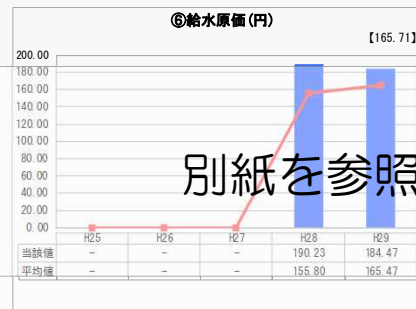
「支払能力」



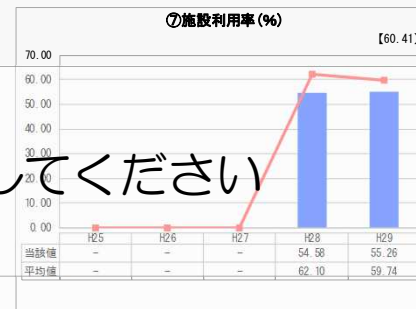
「債務残高」



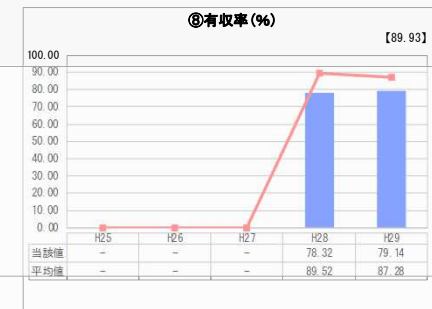
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



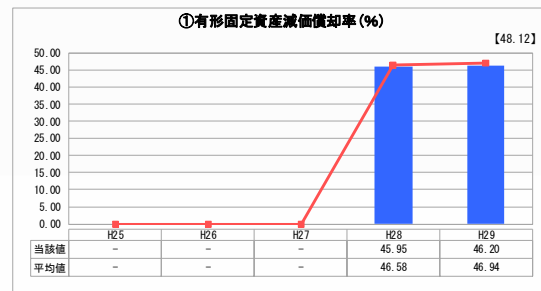
「施設の効率性」



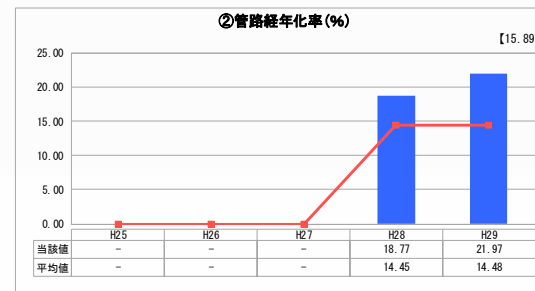
「供給した配水量の効率性」

別紙を参照してください

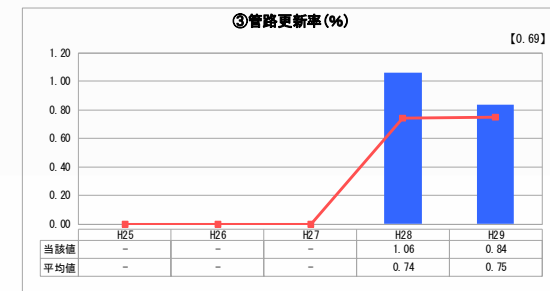
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

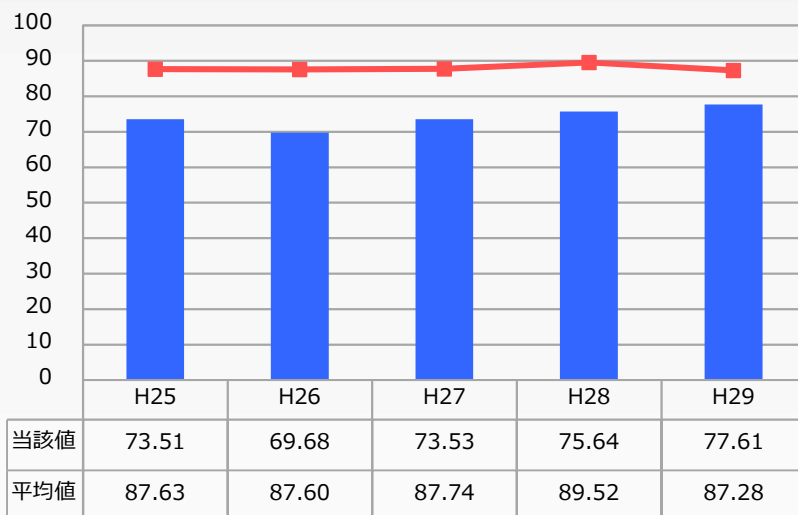
※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。

参考

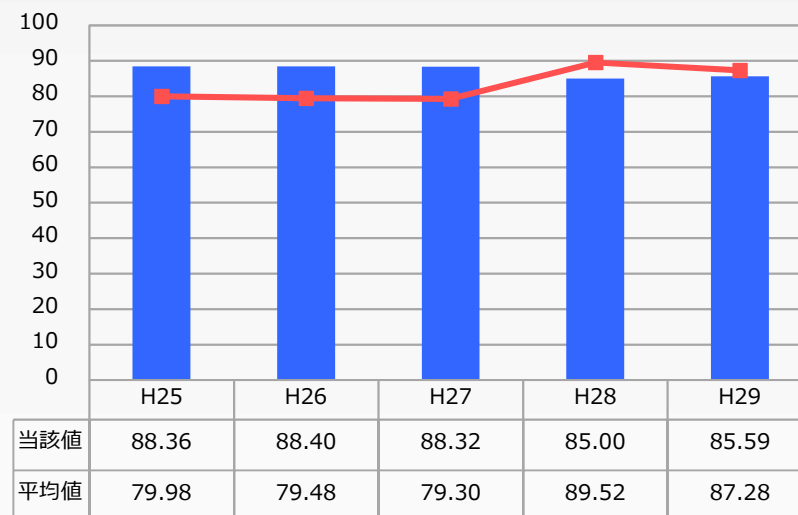
地区毎有収率の推移

(H29全国平均 89.93)

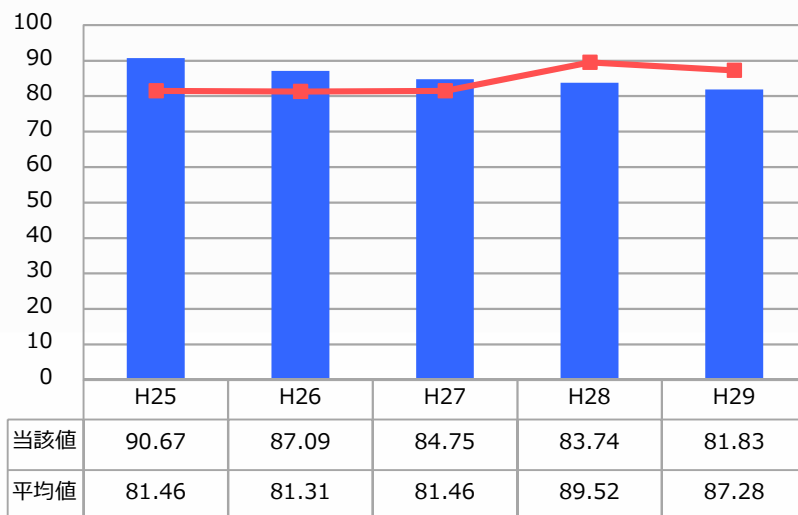
秩父市



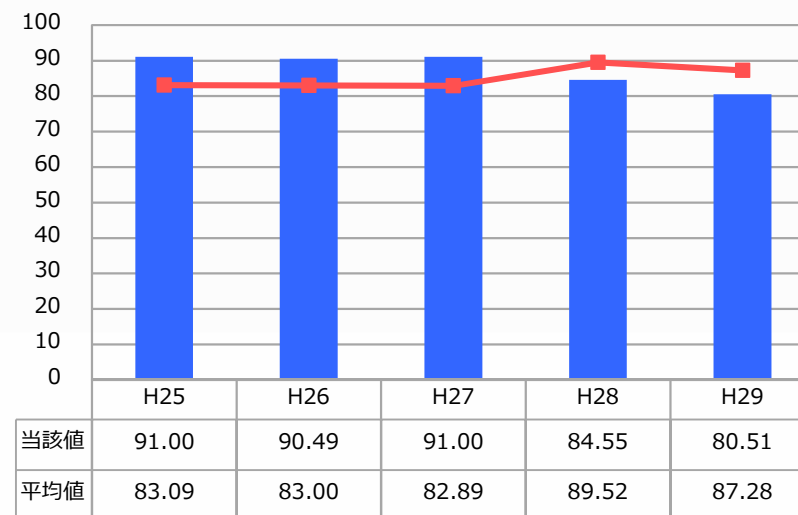
横瀬町



小鹿野町



皆野・長瀬



経営比較分析表まとめ

～各団体の特徴～

	秩父市	横瀬町	小鹿野町	皆野・長瀬
1. 経常収支比率	△	△	×	
2. 累積欠損金比率			×	
3. 流動比率				
4. 企業債残高対給水収益比率		△		
5. 料金回収率	×	×	×	×
6. 給水原価				×
7. 施設利用率		×		
8. 有収率	×			
9. 有形固定資産減価償却率				
10. 管路経年化率	×		×	
11. 管路更新率			×	

経営比較分析表まとめ（２） ～各団体の特徴～

秩父市

- 経常収支比率が100%を切ることがあった
- 料金回収率が100%を切っている
- 有収率が低い
- 管路経年化率が高い

横瀬町

- 経常収支比率が100%を切ることがあった
- 給水収益に対する企業債の割合が高い
- 料金回収率が100%を切っている
- 施設利用率が低い

小鹿野町

- 経常収支比率が100%を切っている
- 累積欠損金が生じていたことがあった
- 料金回収率が100%を切っている
- 管路経年化率が高い
- 管路更新率が低い

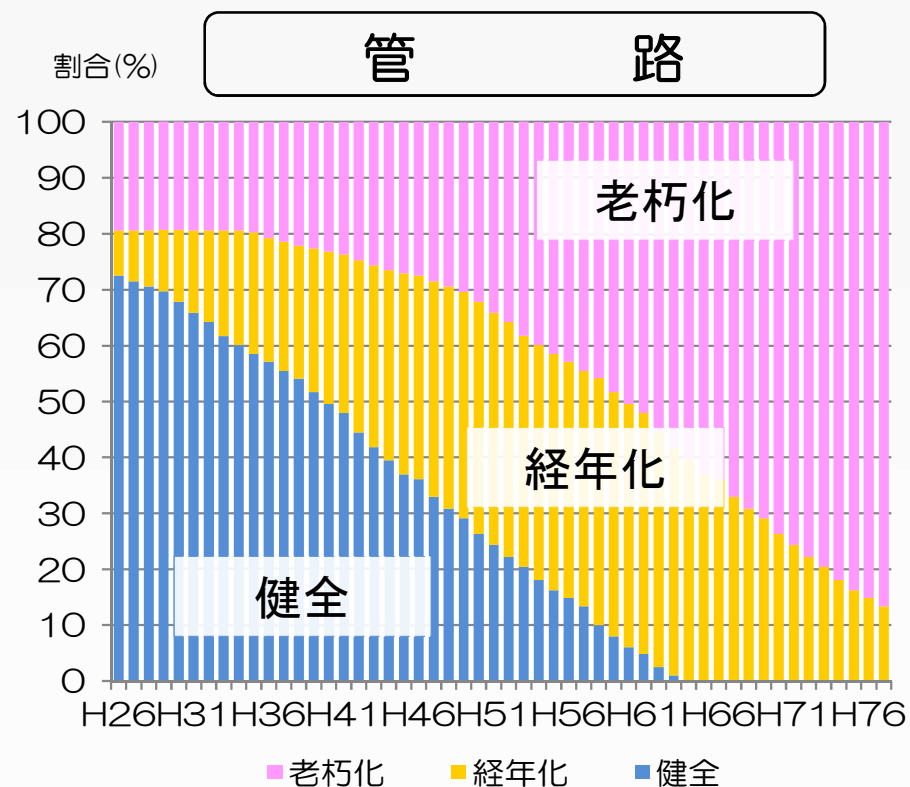
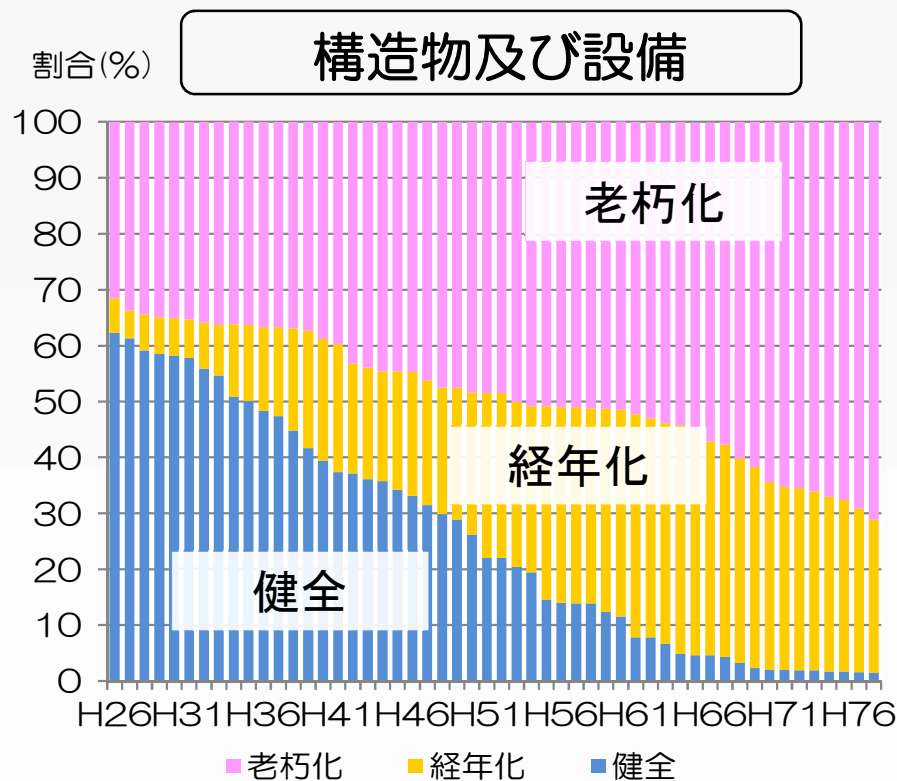
皆野・長瀬

- 料金回収率が100%を切っている
- 給水原価が高い

②統合前の水道施設の健全度

更新しなかった場合の健全度（秩父地域全体）
（H25年度時点）

健全：法定耐用年数以内
経年化：法定耐用年数×1.5倍
老朽化：経年化を超えたもの



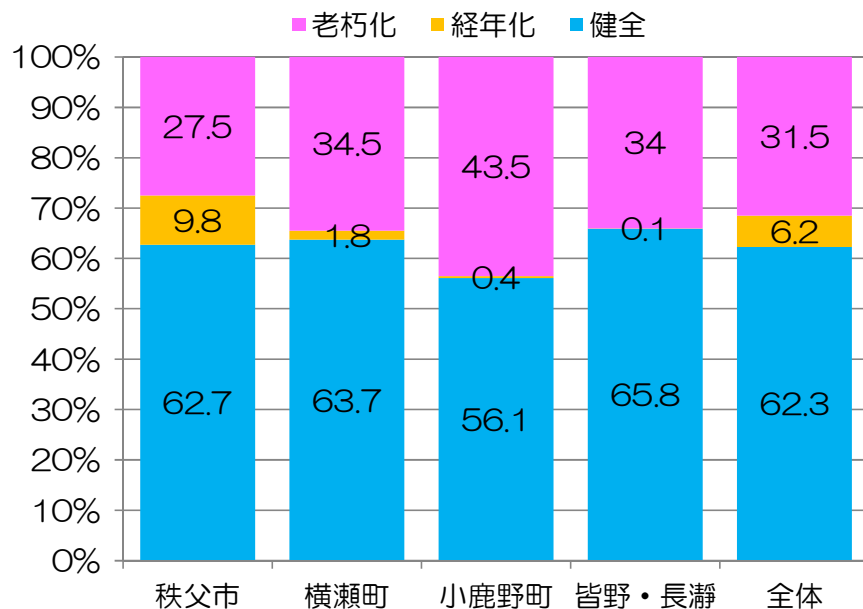
老朽化した水道施設を更新しないと、施設の健全度は低下し、
安定給水に支障をきたす。

統合前の水道施設の健全度（2）

地区毎の施設・管路の健全度（H25年度時点）

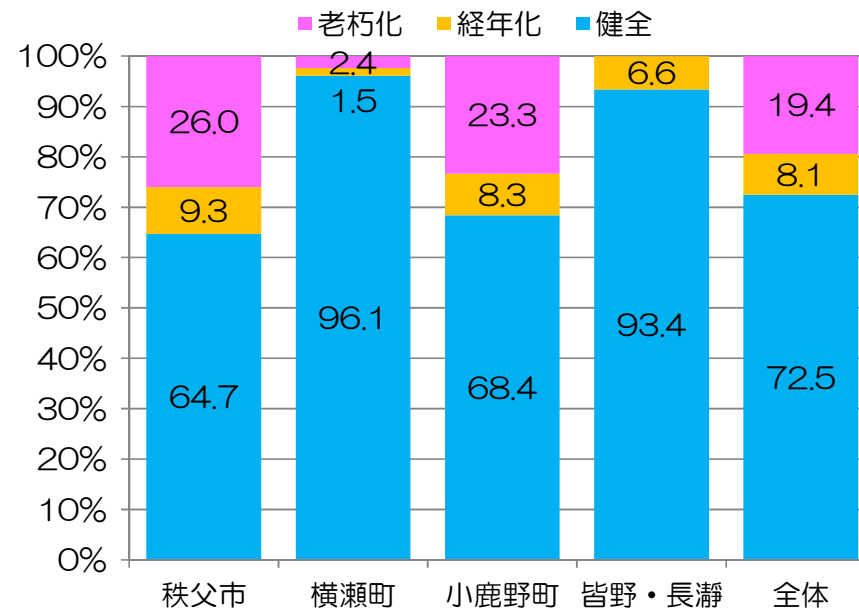
■ 健全：法定耐用年数以内
■ 経年化：法定耐用年数×1.5倍
■ 老朽化：経年化を超えたもの

〔現在の構造物及び設備の老朽度〕



特に、小鹿野町の老朽化率が高い

〔現在の管路の老朽度〕



特に、秩父市の老朽化率が高い

小鹿野町も老朽化率が高い

構造物及び設備は全体の**32%**が、管路は全体の**19%**が老朽化している。
⇒老朽化した施設の更新を行うための**財源の確保が課題**である。

③秩父地域の浄水場一覧

